

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名	校長名
大淀町	大淀町立大淀緑ヶ丘小学校	飴田昌功

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

本校児童が、各教科の学習並びに特別活動の時間を通して地域の方々の生活に学ぶ機会を持つことで、児童の夢や希望、また周囲への感謝の気持ちを高める。

児童のふるさと大淀を誇れるよう、学校・地域ぐるみでの“人（みどりっ子）づくり”を目指す。

2 特徴的な取組の概要

2年生の取組の実際（児童数62名） 「サツマイモをそだてよう」

学年として1年間を通して地域の方と活動を行っているのは2年生だけである。それゆえ2年生担任は、地域ボランティアの農家の有志の方と連絡を密に取っている。担当者もお年をめされているので、いつまで続けることができるのか不安であるようだが、体が動く限りこの活動を続けていきたいとおっしゃっている。

子どもたちは地域の方と楽しく学習できた。子どもたちは経験したことを文や絵に表したり、有志の方々にお礼の手紙を書いて活動をふりかえった。地域の方々に対してありがたいの気持ちが育まれているようである。



2年生と地域の方々との出会い。植え方を教えてもらいます。



無事にいもの苗を植えることができました。



2年生のあるクラス。無事にいもほりが終わりました。みんなで記念写真です。

・（成果と課題）

地域の学習や交流学习を子ども達は本当に楽しみにし、意欲的に活動している。それゆえ、いかに継続性の確保をしていくかが課題に挙げられる。それは、学校や地域でも同じことだと言える。学校では、教師同士の引き継ぎの大切さを意識しなくてはならないことであるし、地域においては、引き続きこのような活動を行っていける人材を確保していく必要がある。そのため、反省や課題、今後の方針等をやはり学校側がリードして地域の方としっかり話し合うことが大切で、その中でまたあらたな取組が考え出され、児童の学習効果にも多大な影響をもたらすものと考えている。